01_Linuxサーバデータベース - Redmine View Customizeのインストール。

概要

このView Customize Pluginは言うなれば「Redmineにおけるアーミーナイフ」です。

Redmine上の

- ちょっとした挙動の修正
- 見た目の変更
- メニューの追加

など、細かい修正をGUI上で行うことができます。しかも、ここで行った修正自体がRedmineのDBに保存されるため、他のサイトへの移設やバージョンアップ時にもソースをいじることがありません。

プラグイン名

- redmine-view-customize
  - https://github.com/onozaty/redmine-view-customize

動作を確認した環境

- Redmine 4.2
- Redmine 5.1
- MySQL （なぜかMariaDBではうまくいきませんでした)

導入時

- Gem追加：要
- DBマイグレーション：要

さっくりとした手順

1. SSHログイン後、Redmineプラグインに移動
2. gitでレポジトリを「リネームして」ダウンロード
3. 新規ジェムをインストール
4. DBマイグレーション
5. Webサービス再起動

Redmineのプラグイン配置ディレクトリに移動します。

```
cd /home/www-data/redmine/plugins && pwd
```

自分の環境に合わせます。

プラグインを配置します。ついでにリネームを行います。

- git clone

```
sudo -u www-data git clone https://github.com/onozaty/redmine-view-customize.git view_customize
```

リポジトリ名は「redmine-view-customize」ですが、システム名称が「view_customize」です。単純ですがハマりやすいポイントです。

- clone確認

```
ls -ld view_customize
```

このディレクトリがあることを確認します。

プラグインをインストールします。

- Redmineルートディレクトリに移動

```
cd /home/www-data/redmine && pwd
```

自分の環境に合わせます。

- bundle install

```
sudo -u www-data bundle install
```

- DBマイグレーション

```
sudo -u www-data bundexec rake redmine:plugins:migratRAILS_ENV=production
```

Webサービスを再起動します。

```
sudo systemctl restart apache2
```

動作

1. Redmineに管理者アカウントでログインします。
2. 管理＞表示のカスタマイズと表示されれば設定完了です。

メンテナによるサンプルがありますので、こちらを参考に設定していきます。

https://github.com/onozaty/redmine-view-customize-scripts

ファイル

O_Redmineプラグインアイコン.jpg	203 KB	2024/01/05	手動人形